

国立大学法人 電気通信大学

2026年度 情報理工学域

学生募集要項

総合型選抜

出願期間 2025年 9月 2日(火)～ 9月 4日(木)

選抜期日 【第一次選考】

《Ⅰ類(情報系)》

書類選考

基礎学力検査(CBT), 非認知能力調査(CBT):

2025年 9月17日(水)

《Ⅱ類(融合系), Ⅲ類(理工系)》

書類選考

【第二次選考】

面接試験:2025年10月21日(火)

合格発表 第一次選考:2025年10月 3日(金)

第二次選考:2025年11月 4日(火)

総合型選抜に関して変更等や不測の事態が生じた場合は、
本学ウェブサイトでお知らせします。

目 次

2026（令和8）年度入学者選抜におけるCBTシステムの活用について	1
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）と入学者選抜の基本方針	2
1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 出願手続	5
4. 出願期間	7
5. 選抜方法等	7
6. 合格者発表	9
7. 入学手続	9
8. 入学の辞退	10
9. 入学金・授業料等	10
10. 出願・受験に当たっての注意事項	10
11. 障害のある者等の出願について	11
12. 個人情報の取扱い	11
13. 入学試験の個人成績の開示について	11
14. 2025年度情報理工学域総合型選抜実施結果	11

封入物 入学志願票・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付票，志望理由書，活動実績報告書，あて名票，出願書類送付用封筒，受験票送付用封筒，検定料払込用紙（5連）

封入物に不足がある場合，入試課にご連絡ください。

〈訂正〉

「2026 年度 情報理工学域 学生募集要項 総合型選抜」について以下のとおり変更いたします。

【変更箇所①】

入学志願票 表面 「高校コード」欄 及び 裏面「記入上の注意」5

○入学志願票 表面 高校コード欄

変更前：大学入学共通テスト受験案内を参照

変更後：大学入試センターの発行する高校コード一覧(右の二次元コード)参照



https://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?d=646&f=abm00005443.pdf&n=250618_R8%E9%AB%98%E7%AD%89%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E7%AD%89%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%89%E8%A1%A8.pdf

○裏面「記入上の注意」5

変更前：高校コードは大学入試センター発行の「大学入学共通テスト受験案内」の
高等学校コード表を参照のうえ記入すること。受験案内を有していない場合は記入不要です。

変更後：高校コード(アルファベットを含む6文字)は大学入試センターの発行する高校コード一覧
(表面の二次元コード)を参照のうえ記入すること。

【変更箇所②】

本文7ページ 活動実績報告書 「Ⅰ類及びⅡ類の自己PR動画の提出方法について」

変更前：以下 URL に記載の「Ⅰ類及びⅡ類の自己PR動画の提出方法について」の
ウェブページを確認し、提出してください。

<https://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/admission/request.html>

変更後：以下 URL に記載の「Ⅰ類及びⅡ類の自己PR動画の提出方法について」の
ウェブページを確認し、提出してください(注：URL を変更しました)。

https://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/admission/senbatsu_type.html



2026（令和8）年度入学者選抜における CBT システムの活用について

本学では、将来の高度情報化社会における大学入学者選抜においては、従来の紙による PBT (Paper Based Testing) による入学試験だけでなく、より先進的な入学試験実施方法の開発が期待されていると考えています。

「情報」を研究領域とする本学では、入学試験において情報通信技術を活用した新たな入試方法を構築し、CBT (Computer Based Testing) を利用した、科目「情報 I」を含む選抜を情報理工学域 I 類（情報系）の総合型選抜（昼）および学校推薦型選抜において実施しています。

これらの選抜で使用する CBT システムでは、①実際のプログラミング環境でプログラムを編集・実行しながら解答を求める問題、②データ解析ツールを用いて実際のデータを分析しながら解答を求める問題など、従来の PBT や口頭試問だけでは測定ができなかった力を評価する問題を出题することができます。

出願した者に対しては、CBT の試験日までにオンラインにより CBT システムの操作を体験できる機会を設けています。

CBT 関連資料

※資料の内容については掲載当時のものです。最新の情報は本募集要項及び本学ウェブサイトをご確認ください。

CBT の特徴や本学 CBT 入試に関する説明動画（時間：32分35秒）

<https://youtu.be/0QuieSnulhY>



CBT サンプル問題・解答（PDF：2.9MB）

https://nyushi.office.uec.ac.jp/information/pdf/cbt_sample.pdf



CBT システム操作動画（時間：3分28秒）

https://nyushi.office.uec.ac.jp/information/pdf/cbt_sample.mp4



入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）と入学者選抜の基本方針

電気通信大学は、人類の持続的発展に貢献する知と技の創造と実践を目指し、社会とともに発展を続けてきました。科学・技術の発展を先導し、知識基盤社会を支える高度な人材を育成することは、大学の最も重要な使命です。

この使命のもと、社会的課題の解決に寄与し、人々が心豊かに生き甲斐を持って暮らせる社会の実現に貢献するためには、もの、エネルギー、情報の交換による、「人」、「自然」、「社会」、「人工物」の間の相互作用を正しく理解し、それを通じた価値の創造が不可欠です。

本学は、そのような価値の創造をもたらす科学・技術体系を、広義のコミュニケーションの視点から「総合コミュニケーション科学」と捉え、これに関する教育研究の世界拠点となることを目指します。そして本学は、そのための取り組みを通じて、21世紀の世界に貢献したいと考えます。

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【情報理工学域】

「総合コミュニケーション科学」の基盤となる情報、通信、電子、機械、ロボティクス、光科学、量子物性、基礎科学等の情報領域、理工領域はもとより、両者の融合による革新的学際領域において、新しい価値の創造に貢献することがますます期待されています。

電気通信大学では、時代の要請を踏まえ、学生自らが、成長にあわせて段階的・探究的に専門分野を選択し、高度な専門性と総合力を身につける学修者主体の教育を実施します。

情報、融合、理工の各領域において、基礎学力と倫理観を備え、国際性、応用力、実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学修能力を持ち、社会との関わりの中で大きく成長していくことのできる人材を育成します。その過程においては、科学的思考力、俯瞰力、倫理意識、論理的コミュニケーション能力等の涵養を大切にします。また、学士課程と修士課程（博士前期課程）の一貫性も教育課程の大きな特徴であり、学域における学びが、先端的な学問研究へと展開します。

このような教育方針に沿って、以下のような資質・能力・意欲を持った皆さんを、広く国内外から受入れます。

【情報理工学域・求める学生像】

「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる領域に不可欠な自然科学および数学に強い興味と探究心を持ち、その学修およびディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づく教育の実現のために必要な基礎学力と論理的思考力・判断力・表現力を有し、多様な人々と協働しながら主体的に学ぼうとする意志の強い皆さんを求めます。

情報、融合、理工、それぞれの領域において、修得した知識と技術を活用して広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

【I類（情報系）】

情報に関わる学問の基礎を広く学びます。情報を対象とする学問は多様であり、その領域は広範です。例えば情報それ自体を取り扱う学問には、情報の本質や実態を追究する分野、表現や加工、活用の技術や手法を開発する分野、また、情報の流通・収集・蓄積に関わる通信ネットワークの分野などがあり、それぞれが独立した学問として発展しています。

一方で情報に関わるすべての学問は相互に影響し合い、情報化社会を支えています。そのため次世代の情報化社会を先導する担い手には、一つの専門分野に軸足を置きつつハード・ソフトの両面を理解し、複数の専門分野にまたがる広い視野を持つことが求められます。I類では、情報に関わる分野全般に共通するコンピュータ、アルゴリズム、プログラムなどを学ぶとともに専門分野の基礎を身につけ、その後は「メディア情報学」、「経営・社会情報学」、「情報数理工学」、「コンピュータサイエンス」、「デザイン思考・データサイエンス」という専門教育プログラムのいずれかで、専門性を高めます。

【I類（情報系）・求める学生像】

目まぐるしく変化する現代社会における情報形態の多様化、情報量の拡大といった環境の変遷に対応して、「人と人」、「人との」、「人と社会」のコミュニケーションの高度化が、これからの社会の発展に必要な不可欠となっています。情報の生成から、収集、流通、蓄積、加工および活用までを総合的に扱う学問である「情報学」を学び、身につけ、次世代の情報化社会を支える技術の創成を担う科学者・技術者を目指そうとしている人を歓迎します。

【Ⅱ類（融合系）】

新しい科学技術やイノベーションの創出には、理学、情報学、工学、医学などの分野間の融合がとても重要です。

Ⅱ類では、電子情報・通信機器、計測機器、ロボットなどの産業応用をより強く意識したハードウェア技術および人工知能、データサイエンスを含めた制御、さらには情報通信システムや多様化するネットワークのセキュリティに関するソフトウェア技術について、5つの専門教育プログラム「セキュリティ情報学」、「情報通信工学」、「電子情報学」、「計測・制御システム」、「先端ロボティクス」で広く深く学ぶことができます。また、その過程では、俯瞰力、倫理観、社会性、国際性、論理的コミュニケーション能力を確立し、様々な分野への応用、実践が可能となる専門基礎力と継続的学修能力を涵養します。

【Ⅱ類（融合系）・求める学生像】

情報学と理工学の基礎をなす数学、理科および英語に興味と学力を有し、これらの学修をさらに深めていく意志を持つ人を求めます。また、情報学、工学やそれらの融合に強い関心を持ち、それらの修得に必要な論理的コミュニケーション能力、主体性、独創性、目的達成力を持つ人を求めます。科学的思考力を支える好奇心、広い意味でのシステムづくりやものづくりへの関心、専門性を高める意志、将来の応用を支える倫理観、社会性を有することも重要です。理学、工学や情報学の基礎となる分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等に参加や受賞した人を歓迎します。

【Ⅲ類（理工系）】

理工学の基盤となる物理学、化学などの自然科学や数学を基礎から体系的に学び、その主要な構成分野である「機械システム」、「電子工学」、「光工学」、「物理工学」、「化学生命工学」の中から学生自ら探究的に選択し各分野に進みます。専門教育では、講義だけでなく、演習や実験を通して高度な専門性と実践力・総合力を養います。

また、広く理工学分野の教養を育みながら、科学技術の発展と自然環境や国際社会との調和を実践できる倫理観および社会性・国際性を養います。その過程で、自身の考えを他者と共有するための論理的コミュニケーション能力も養います。

【Ⅲ類（理工系）・求める学生像】

理工学の基盤となる自然科学や数学に強い興味と探究心を持ち、その学修のために必要な基礎学力と論理的思考力を有し、主体的に学ぼうとする意志の強い人を求めます。また、読解力や文章力、口頭表現力など基本的なコミュニケーション能力を有することも重要です。自然環境や国際社会に関心が高く、広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

【先端工学基礎課程（夜間主コース）】

社会人および夜間の修学を必要とする人に対して「総合コミュニケーション科学」に関わる科学・技術に必要な専門教育の機会を提供するために、夜間主コースを設置しています。産業界における技術的課題を読み解き解決するために必要な基礎力および応用力を身につけた情報学や理工学の専門的職業人を育成します。

また、実務で必要となる技術者倫理や知財・特許管理を学ぶとともに、国際的に通用する論理的コミュニケーション能力の基礎を養います。

【先端工学基礎課程（夜間主コース）・求める学生像】

自然科学および数学に関する知識と技術の修得に努め、技術革新や産業構造の変化に対応しつつ広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人を求めます。

《Ⅰ類（情報系）、Ⅱ類（融合系）、Ⅲ類（理工系）、先端工学基礎課程共通》

入学までの段階で修得が望ましい教科内容と水準

- 1) 数学は、基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を論理的に考察し数学的に処理する能力を有していること、特に、数学Ⅲまでの履修が望ましく、数学Ⅲまでの微積分の基礎知識を使って、様々な関数のグラフを描いたり、速度・加速度や簡単な図形の面積や体積を計算できること。さらに、複素数平面の基礎的事項を理解していること。
- 2) 理科は、出来るだけ多くの科目に興味を持ち、正しい自然観・宇宙観が育まれていること、特に、物理基礎、化学基礎に加えて物理、化学の履修が望ましく、物理の分野では、力学、電磁気学、熱、波動などに関連する現象を論理的かつ数理的に捉えてそれを説明でき、化学の分野では、化学結合の概念や物質の構造および性質を理解し、化学の成果が日常生活の様々なところで役立っていることを認識し説明できること。
- 3) 情報は、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせて問題の発見・解決を行う能力を有していること、特に情報Ⅰで学ぶ基礎知識を理解しており、多様な問題に応用できること。さらに、目的に応じたモデルやアルゴリズムについて論理的に思考し、プログラミングによる問題解決を行えること。
- 4) 英語は、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に活用したコミュニケーション能力を有し、さらに、基本的な読解力、平易な英文を辞書なしで読み進んでいくことのできる語彙力・文法力や、あるトピックを一つのパラグラフ程度にまとめることのできる英作文能力を有していること。
- 5) 国語は、言葉を通して的確に理解し、論理的に考え、効果的に表現し伝え合う能力を有すること、特に、他者の考え方についての理解力、自分の考え方を相手に伝えられる文章力と口頭表現力を有すること。
- 6) 他の教科・科目については基礎レベルの知識・理解を有すること。

注：水準はあくまでも高等学校における学習の目安であり、履修の有無でもって合否判定するものではありません。

2. 入学者選抜の基本方針

入学者の受入れに際しては、高等学校段階における学びの成果・実績の評価も含め、多様な選抜を実施し、学力の三要素を踏まえた多面的・総合的な評価を推進します。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、総合型選抜（夜間主コース）、私費外国人留学生選抜および特別編入学の選抜方法に応じて、大学入学共通テスト、個別学力検査、総合問題試験、面接試験、基礎学力検査（CBT）、プレゼンテーション、調査書およびその他の提出書類のいずれかを組み合わせて、本学域での学修において求められる資質、能力、学力等について総合的に判断し、入学者の選抜を行います。

○総合型選抜

高等学校在学中の科学系コンテスト等への参加の主体的な活動や、本学で実施される高大接続教育（UECスクール）をはじめとする高大接続型スクーリングでの積極的な活動を重視し、入学希望者が自ら表現する能力・適性、学習意欲、目的意識等に重点を置いて、評価を行う選抜です。

募集は、類別に募集します。

選抜は、二段階での選考によることとし、面接試験、プレゼンテーション、基礎学力検査（CBT：Ⅰ類のみ）および提出書類・資料（自己PR動画等を含む）を総合して行います。

第一次選考は、志望理由書、活動実績報告書（内容は各類で指定する活動に関するもの）、調査書によって行い、高等学校在学中の活動内容、基礎能力や適性等について評価を行います。また、Ⅰ類のみ基礎学力検査（CBT）を実施します。

第二次選考は、第一次選考合格者に対し、活動実績報告書の内容に関するプレゼンテーションと、質疑応答を中心とする面接・口頭試問により行い、理工系への適性、主体性等（「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）、本学での学修に必要な知識・技能、およびこれを踏まえた思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

1. 募集人員

学 域	類 2年次後学期からの専門教育プログラム	募集人員
情 報 理 工 学 域	I 類（情報系） メディア情報学プログラム 経営・社会情報学プログラム 情報数理工学プログラム コンピュータサイエンスプログラム デザイン思考・データサイエンスプログラム	7名
	II 類（融合系） セキュリティ情報学プログラム 情報通信工学プログラム 電子情報学プログラム 計測・制御システムプログラム 先端ロボティクスプログラム	7名
	III 類（理工系） 機械システムプログラム 電子工学プログラム 光工学プログラム 物理工学プログラム 化学生命工学プログラム	7名

2. 出願資格

次の(1)または(2)のいずれかに該当し、第二次選考の結果、合格した場合に必ず入学することを確約できる者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
(2025年度において学年途中または学期の区分に従い卒業を認められた者を含む。)
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者
(2025年度において学年途中または学期の区分に従い卒業を認められた者を含む。)

(注1) 上記の高等学校、中等教育学校等は日本の学校を指します。

(注2) 入学後の学修には、次の科目の内容を理解していることが必要不可欠であるので、志願者は卒業までにこれらの科目を履修することが望まれます。

- ・「数学Ⅲ」、 「物理」、 「化学」

3. 出願手続

3-1. 志望方法

志望する類および専門教育プログラムを選択します。なお、専門教育プログラムへの配属は、2年次後学期に行われる予定です。

3-2. 出願書類等

出願書類を本募集要項添付の封筒に入れ、**簡易書留郵便で出願期間内に必着するよう郵送してください**。郵送以外は受け付けませんので注意してください。

《出願書類の郵送先》

〒182-8585 電気通信大学入試課 (所在地の記入は不要)

出 願 書 類		注 意 事 項
1 2 3	※入学志願票 ※写真票 ※受験票	①本募集要項添付の用紙に必要事項を記入してください。 ②上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を写真票および受験票の指定欄に貼ってください。 ③写真の補正は行わないでください。
4	※振替払込受付 証明書貼付票	金融機関の日附印が押印されている「振替払込受付証明書（検定料受付証明書）」を所定欄に貼ってください（本表「5 入学検定料」を参照）。
5	入学検定料	①17,000円を本募集要項添付の払込用紙により金融機関から払い込み「振替払込受付証明書」に日附印を受けてください。なお、ATM（現金自動預払機）ではなく、必ず金融機関窓口から払い込んでください。 ②払込手数料は、志願者本人の負担です。 ③払い込んだ後、「振替払込受付証明書（検定料受付証明書）」を「4 振替払込受付証明書貼付票」の所定欄に貼ってください。
6	調査書	文部科学省で定めた様式により、所属学校長が作成の上、厳封してください。
7	※志望理由書	本募集要項添付の用紙に志願者本人が自筆で記入してください。
8	※活動実績報告書	各類が指定する活動（次表に記載）について、A4判3ページ以内で作成してください。グループで行った活動の場合は、志願者自身の役割も明確に記載してください。 なお、参考資料としてコンテスト等の賞状、成績表、資格証等の写しを添付していただいても差し支えありません（参考資料は活動実績報告書のページ数には含みません）。
9	※受験票送付用封筒	本募集要項添付の封筒（上部に「速達」の印刷がある）に、受験票の受取を希望する住所と志願者氏名を明記し、410円分の切手を貼ってください。
10	※あて名票	合格通知書等の受取を希望する住所と志願者氏名を明記してください。
11	その他	①日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する住民票（在留資格、在留期間および国籍の記載されたもの）を提出してください。なお、住民登録をしていない者はパスポートの写し（氏名、生年月日、性別が記載されている箇所）を提出してください。 ②転校等により複数の高校に在籍した者は、全ての高校の成績がわかるもの（成績証明書など）を提出してください。

- (注) ・※印の付されたものは、本募集要項に添付しています。
・出願書類の記入には、黒または青のペンかボールペンを使用してください。
・出願書類の誤記の際は、二重線で消し、訂正印を押してください。
・提出書類に不備がない場合、入試課からの受領の連絡は行っておりません。

活動実績報告書

類	内 容
I 類	<p>次の①および②の両方を提出してください。</p> <p>① プログラミング・デジタルものづくり・データ分析等の情報技術に関するアルゴリズム・制作物・解析手法等をまとめた特別活動レポート（本学実施の UEC スクールや他大学でのスクーリング・セミナー参加，および科学系コンテスト等での実績を含む）。参加や実績をレポートで主張する場合は，それを証明する書類の写しを資料として添付してください。</p> <p>② 活動内容を PR する動画 3 分以内（原則としてプログラムや制作物・作品のデモンストレーションを含むこと）を作成し，後述の「I 類及び II 類の動画提出先について」に記載の方法で提出してください。</p> <p>なお，提出された動画は入試の判定のみに使用し，入試終了から 5 年間保存します。</p>
II 類	<p>次の①および②の両方を提出してください。</p> <p>① 本学実施の UEC スクールや他大学でのスクーリング・セミナー参加，理学・工学・情報学の基礎となる分野における国内外で開催される各種コンテスト（例 1），学外研究発表会等における活動実績，各種資格（例 2）の一覧と内容紹介</p> <p>（例 1）科学の甲子園，ロボカップジュニアジャパン等の各種コンテスト</p> <p>（例 2）情報処理安全確保支援士，アマチュア無線技師，電気工事士等の各種資格</p> <p>② 自己 PR 動画 3 分以内（成果物の紹介，実演，自己 PR 等）を作成し，後述の「I 類及び II 類の動画提出先について」に記載の方法で提出してください。</p> <p>なお，提出された動画は入試の判定のみに使用し，入試終了から 5 年間保存します。</p>
III 類	<p>次の①および②をまとめたものを作成してください。</p> <p>① 本学実施の UEC スクールや他大学でのスクーリング・セミナー参加，科学系オリンピック，学外研究発表会等の活動実績の一覧と内容の紹介</p> <p>② 高等学校等での理工学に関する代表的な研究の内容。関連する基礎的な原理・法則・応用などを含めて，研究方法と結果を説明してください。図表や式を含めても差し支えありません。</p>

・ I 類及び II 類の動画提出先について

以下 URL に記載の「I 類及び II 類の自己 PR 動画の提出方法について」のウェブページを確認し，提出してください。

<https://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/admission/request.html>



なお，上記の方法での提出が難しい場合には，件名を「総合型選抜動画提出」とし，本文に氏名及び志望類を記載した上で以下の電子メールアドレスにお送りください。
 (送付先電子メールアドレス) open-camp@office.uec.ac.jp

4. 出願期間

2025 年 9 月 2 日（火）から 9 月 4 日（木）まで（9 月 4 日（木）必着）

5. 選抜方法等

入学者の選抜は，大学入学共通テストを課さず，第一次選考および第二次選考により合格者を決定します。

5-1. I類（情報系）

第一次選考は、出願書類および基礎学力検査(CBT)により実施します。

第二次選考は第一次選考合格者に対して面接試験を実施し、提出書類や基礎学力検査(CBT)、非認知能力調査(CBT)と合わせて総合的に判断し、合格者を決定します。

① 第一次選考

選抜期日(CBT) 2025年9月17日(水) 9:15～

実施場所 電気通信大学

区分	時間	内容
出願書類		<ul style="list-style-type: none"> 活動実績報告書（類の指定する内容のもの。7ページ参照） 志望理由書 調査書 基礎学力検査(CBT)によって、入学後の学修に必要となる最低限の基礎学力を有していないと判断した場合には、活動実績報告書、志望理由書、調査書の一部または全部を評価しないことがあります。
基礎学力検査(CBT)	数学 9:15～10:45(90分) 情報 11:10～12:40(90分)	情報および数学の分野に関する基礎学力検査を CBT により実施します。
非認知能力調査(CBT)	12:45～13:00(15分)	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢等、学力テストでは測れない能力の調査を CBT により実施します。 なお、調査結果は面接試験の参考とします。

・志願者に対しては、出願受理後から第一次選考までの間にオンラインでの CBT システムの操作体験の機会を設けます。詳細は志願票に記載された電子メールアドレスに送信します。

・試験問題等の非公開（漏洩禁止）について

基礎学力検査の試験問題および非認知能力調査の質問内容（以下「試験問題等」とする）は非公開です。受験者は出願時および第一次選考の受験時に以下の事項に同意していただく必要があります。**同意されない場合には出願を受理せず、受験できません。**

- 試験問題等の全部または一部（試験問題中に登場する文字に限らず、出題質問内容を示唆する表現も含む）を第三者に開示（漏洩）しないこと。
- 上記 a. を開示（漏洩）した場合、関係法令等に基づき損害賠償請求等の措置が取られること、また不正行為として試験結果を無効にすることがあります。

なお、試験問題等は著作権法で保護されています。出題質問に関する SNS への投稿、インターネット掲示板への書き込みなどについても、上記の開示（漏洩）とみなす場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

②第二次選考

選抜期日 2025年10月21日(火) 10:00～

実施場所 電気通信大学

区分	内容
面接試験	活動実績報告書の内容に関する PowerPoint 等によるプレゼンテーション（10分程度）と、質疑応答を中心とする面接・口頭試問（20分程度）を実施し、情報技術を活用する能力、論理的かつ明快に説明する能力、情報理工学への適性および関連する能力を総合的に評価します。プレゼンテーションの中でプログラムや制作物・作品のデモンストレーションを実際に行うことを推奨します。

(注) 試験内容に関して、本募集要項に記載されている内容以外のご質問には応じません。

5-2. II類（融合系）およびIII類（理工系）

第一次選考は、出願書類により実施します。

第二次選考は第一次選考合格者に対して面接試験を実施し、合格者を決定します。

II類（融合系）およびIII類（理工系）では、第一次選考において CBT による基礎学力検査、非認知能力調査を実施しません。

① 第一次選考

以下の出願書類に基づき総合的に書類選考を行います。

区分	内容
出願書類	・活動実績報告書（各類の指定する内容のもの。7 ページ参照） ・志望理由書 ・調査書

② 第二次選考

第一次選考合格者に対し、以下により面接試験を行います。

選抜期日 2025 年 10 月 21 日（火）10 時～

実施場所 電気通信大学

面接試験

類	内容
II類	活動実績報告書の内容に関する PowerPoint 等によるプレゼンテーション（10 分程度）と、質疑応答を中心とする面接・口頭試問（20 分程度）を実施し、活動内容に関する理解、論理的かつ明快に説明する能力、数学・理科に関する基礎学力、情報理工学への適性および関連する能力を総合的に評価します。
III類	活動実績報告書の内容に関する PowerPoint 等によるプレゼンテーション（10 分程度）と、その内容や提出書類に関する質疑応答を中心とする面接・口頭試問（20 分程度）を実施し、活動内容に関する理解、論理的かつ明快に説明する能力、理工学に関する基礎学力と適性および関連する能力を総合的に評価します。

(注) 試験内容に関して、本募集要項に記載されている内容以外のご質問には応じません。

6. 合格者発表

○ 第一次選考

合格者の受験番号は、本学のウェブサイト（<https://www.uec.ac.jp/>）において

「2025 年 10 月 3 日（金）午前 10 時 00 分頃」から発表日も含めて 7 日間掲載する予定です。

なお、合格者には第二次選考に関する詳細を志願票に記載された電子メールアドレスに送信します。

○ 第二次選考

合格者の受験番号は、本学のウェブサイト（<https://www.uec.ac.jp/>）において

「2025 年 11 月 4 日（火）午前 10 時 00 分頃」から発表日も含めて 7 日間掲載する予定です。

なお、合格者には合格通知書を発送します。

(注) 電話、メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続

第二次選考の合格者には、入学手続書類を郵送します。

なお、入学手続の際に受験票が必要となりますので、紛失しないよう保管してください。

合格者は、次の期間に郵送により入学手続を行ってください。

7-1. 入学手続期限

2025 年 12 月 16 日（火）までに必着

7-2. 入学手続書類郵送先

電気通信大学入試課

7-3. 本学への入学手続を完了した者は、前期・後期日程試験の合格者となることはできません。

(入学辞退を行った者を除く。「8. 入学の辞退」参照。)

8. 入学の辞退

特別の事情があり、入学を辞退する場合には 2026 年 2 月 18 日（水）（必着）までに「入学辞退届（任意の様式）」を提出してください。

なお、「入学辞退届」を提出しない場合には、前期・後期日程の合格者とはなり得ないので注意してください。

9. 入学金・授業料等

9-1. 納入金

入学金	282,000 円
授業料（前期分）	267,900 円（年額 535,800 円）
計	549,900 円

（注）・上記の金額は、改定されることがあります。

・入学金・授業料の納入方法およびその他の提出書類等については別途通知します。

・在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

9-2. 上記納入金の他に、諸会費として学生教育研究災害傷害保険料，学研災付帯賠償責任保険料等があり、補償内容や加入等の案内は入学手続き時に通知する予定です。

10. 出願・受験に当たっての注意事項

10-1. 選考の結果、不合格となった場合に本学が実施する学校推薦型選抜または総合型選抜（夜間主コース）の受験を希望する者は、各選抜の学生募集要項を参照のうえ、所定の出願手続を行なって下さい。

10-2. 選考の結果、不合格となった場合に、本学が実施する一般選抜の受験を希望する者は、次のことに留意してください。

(1) **あらかじめ大学入学共通テストに出願し、本学が指定する「受験を要する教科・科目」を受験しなければなりません。**（令和 8 年度大学入学共通テストの出願期間は、**2025 年 9 月 16 日（火）から 10 月 3 日（金）**まで）

(2) 一般選抜学生募集要項を参照のうえ、所定の出願手続を行ってください。

納入済みの検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 第一次選考の結果、不合格となった場合（13,000 円を返還します）

② 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合

③ 検定料を振り込んだが出願書類が受理されなかった場合

④ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

（注1）返還にかかる振込手数料は、請求者の負担となりますのでご了承ください。

（注2）返還の手続きについては、①③は入試課から志願者本人に連絡します。

②④は、下記のウェブサイトを参照の上、「納入済検定料返還請求書」を作成し、財務課出納係へ **2025 年 9 月 12 日（金）**までに郵送または電子メールでお送りください。その際は「振替払込受付証明書」を必ず添付してください。

・検定料の返還についてのウェブページ URL

http://zaimu.office.uec.ac.jp/www/zaimu/kenteiryohennkan/kenteiryohennkann_top.htm



10-3. 出願書類の受理後は、記載事項等の変更および出願書類の返還は認めません。

10-4. 出願書類の記載事項と相違する事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

10-5. 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名および大学入学共通テストの受験番号、本学総合型選抜の受験番号、合否および入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されますのでご了承ください。

11. 障害のある者等の出願について

障害のある者等で、受験上特別な措置および入学後修学上特別な配慮を必要とする者は、**2025年8月29日（金）**までに入試課に相談してください。

なお、障害のあるⅠ類（情報系）の志願者で、CBTの受験に際して不安がある場合は、前述の期限によらず速やかに入試課に相談してください。

12. 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人電気通信大学個人情報保護規程」に基づいて以下のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格発表、入学手続業務およびこれに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、個人が特定されないかたちで、今後の入学者選抜方法の調査・研究、分析および広報活動の検討資料の作成のために利用することがあります。
- (3) 上記(1)および(2)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。その場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲内で、保有する個人情報の全部または一部を提供することがあります。
- (4) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

13. 入学試験の個人成績の開示について

総合型選抜の個人成績を受験者本人に限って開示します。具体的な申込期間、申請方法、開示内容等については、以下URLのウェブページをご確認ください。

<https://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/admission/result.html>



14. 2025年度情報理工学域総合型選抜実施結果

類	募集人員	志願者数	第一次選考 合格者数	受験者数	第二次選考 合格者数
Ⅰ類（情報系）	7	35	6	6	5
Ⅱ類（融合系）	7	24	9	8	3
Ⅲ類（理工系）	7	7	4	4	2
合計	21	66	19	18	10

【問い合わせ先一覧】

問い合わせ内容	担当（連絡先）
入学試験に関する質問	入試課入学試験係 (042-443-5103)
入学科・授業料に関する質問	財務課出納係 (042-443-5040)
学生生活全般に関する質問	学生課学生係 (042-443-5087)
入学科・授業料免除および 奨学金制度に関する質問	学生課経済支援係 (042-443-5089・5090)
学生宿舎・寮に関する質問	[入寮申込について] 学生課課外・厚生係 (042-443-5085) [その他] UEC Port管理人室 (「学生宿舎・寮」管理人室) (042-429-3170)

- ・ 電気通信大学ウェブサイト

<https://www.uec.ac.jp/>



- ・ 入試情報

<https://www.uec.ac.jp/news/admission/>



